

平成28年度 佐久幼稚園「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

1 園の教育目標

「体を動かすことで人間は育つ」を基本に据え、外遊びを豊富に行う活動を通じ、心身共に逞しい子を育てる保育・教育から、共育ちの佐久幼稚園

2 本年度の重点目標

- ・体を動かし、みんなで遊ぶ子（体を育む）
- ・あいさつ、朗らか、笑顔の子（社会性を培う）
- ・一步踏み出す、輝く子（心を育む）

3 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない

D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	B
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	B
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	A
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	B
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 校関係者評価委員(モニター)からの評価

- ・地域の愛されるといった面から考えた時、運動会での子どもの姿は勿論ではあるが、それを支える職員やPTA役員・保護者の動きが素晴らしい。アンケートでも職員の評価は高いが、こういった姿こそ自信をもって地域に発信していくべきである。
- ・自分の事が大好きといった自尊感情を持った子どもや思いやりや考える力を持った子どもに育ててほしいと願っている、是非佐久幼稚園の方針にいられたきたい。
- ・アンケートに園の様子をつたえていただきたいという要望があるが、連絡帳などで時々のエピソードを伝えていただければありがたい。
- ・大勢の園児がいる中で、多くの人と関わり、友だちも増やせる。
- ・園で縦割りの活動を日常化するなど、関わる力、人間関係力をつけていただきたい。

5. 今年度の総合的な園評価と次年度への課題

- ・年間を通じ、朝から園庭やグラウンドで体を積極的に動かして遊ぶ姿を更に高める。
- ・諸行事や日常の保育において、職員が園児全員の名前を覚えるなど目を重ねる体制づくりの中で、次のような弱みをチャンスとして子どもの育成につなげている状況を、更に高めたい。

園児数が多い → 集団の中で育てる人間関係力

駐車場が遠い → 送迎の中で鍛えられる体、親子の触合

先生方が若い → 組織的な教育・保育の実践

- ・一斉集会での集合時や先生の話聞く態度など、集中する姿があり、運動遊びが脳に良い影響を与えているのではないかと感じている